第３次郡上市食育推進基本計画 策定!!

「食」という字は、人を良くすると書きます。食は、健康なからだづくりに留まらず、おいしく楽しく食べることで豊かな人間性をも育む重要な役割といえます。

郡上市では、「みんなでつくる郡上の食育」を基本理念に、市民のみなさんと食育の推進に取り組んでいます。平成22年３月には「郡上市食育推進基本計画」、「第２次郡上市食育推進基本計画」を策定し、生涯にわたり途切れることのない「つなぐ食育」を推進してきました。そして、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式や環境の変化等の社会情勢を踏まえ、令和４年３月、「第３次郡上市食育推進基本計画」を策定しました。子どもから高齢者まで、生涯にわたりおいしく楽しく食べることの大切さを伝え、体と心の健康づくり、食文化の継承、地域循環型の食環境づくりを推進していきます。

郡上市食育キャラクター たーんと君

これまでの推進の成果と課題

食文化を次世代に伝えましょう

毎日朝食を食べる
○：幼児と高校生の割合は増加
▲：小・中学生・成人は減少

郷土料理等の講習会
○：中学生、高校生の割合は増加

郡上の食べ物を知り、地域循環型の食環境づくりをしましょう

食材購入時に栄養成分表示を参考にする
○：参考にする人の割合が増加

学校給食における地場産食材の使用
○：使用割合が増加

地域のボランティア等による食農体験の機会
▲：感染拡大防止の観点から自粛や中止となり、回数の把握もできない

食事を楽しくとり、心と体を健康にしましょう

毎食「主食・主菜・副菜」を揃えて食べる
○：小・中学生・高校生の割合が増加
▲：成人・高齢者は減少

生活習慣病予防のために自分の理想体重に合わせた食事量を知っている
○：成人の割合が増加

薄い味付けが大切だと思う
○：中学生・高校生の割合は増加

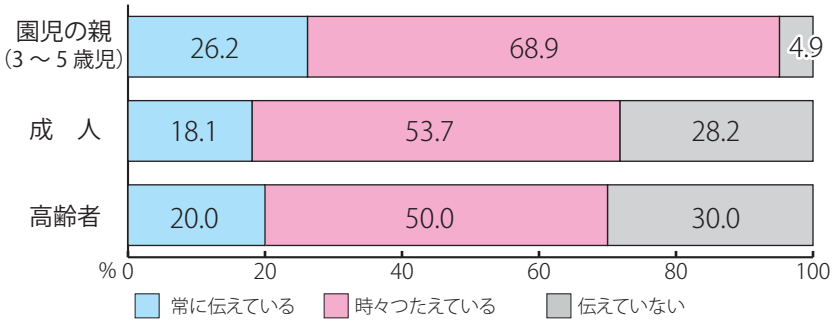
毎日、家族で食事をする機会
○：どの年代も割合が増加

食育推進会議

食育イベント

食べ物の大切さを伝えている人の割合

「食」への感謝の気持ちの育成では、食べ物の大切さを「常に伝えている」、「時々伝えている」人の割合は、園児の親が95％でした。食べ物に感謝し、むだにしない、食べ残しをしないようにすることは、食品ロスの削減に向けた取り組みにもつながっていると言えます。



基本理念

みんなでつくる郡上の食育

～豊かな自然の恵みに感謝し、次世代につなぐ食のまちづくり～

3つの基本方針

1. 食が育む体と心の健康づくりをしましょう

食べることは、健康づくりの基本であり、子どものうちに健全な食生活を確立し、生涯にわたって体と心の健康を維持するための食育を推進します。

2. 食を通して人とのつながりを持ち、食文化を次世代に伝えましょう

人と食を楽しむ中で、様々なことを学ぶことができます。人とのつながりで豊かな心を培い、食文化の次世代への継承を推進します。

3. 食べ物に感謝をし、地域循環型の食環境づくりをしましょう

郡上の旬の食材や地域の特産物を生かした料理の紹介等で地産地消を推進します。食べ物を大切にし、感謝する気持ちの育成と、食品ロスの削減により環境保全にもつながることを併せて推進します。

基本施策

本計画が目指す姿を示す3つの基本方針や、これまでの食育推進会議で出された意見をもとに、どの年代にも共通する6つの基本施策を設定しました。また、ライフステージごとにも具体的な取組みを示し、評価指標を設定しました。

①健全な食生活の実践

②食を楽しみ、豊かな心を培う

③食文化やわが家の味の継承

④食に対する感謝の気持ちの育成

⑤地産地消の推進及び特産物の振興

⑥食の安全・安心の確保

計画の期間

令和4年度から令和7年度までの4年間とします。計画は、必要に応じ見直しを行います。

計画の評価・推進体制

郡上市食育推進会議において、計画の策定及び進捗状況の把握や評価を行い、市内の団体、関係機関、庁舎内関係部局との連携、協力及び情報共有のもとに食育を推進します。

新しい生活様式、環境の変化に伴う社会情勢の変化に対応するための施策として、食の情報のデジタル化への取組みや、SDGsの目標（ゴール）を表記し、持続可能な食育の推進を目指します。

第3次郡上市食育推進基本計画は、市ホームページよりダウンロードできます。

問 健康福祉部健康課 88・4511